

# Ⅲ 航 空 編

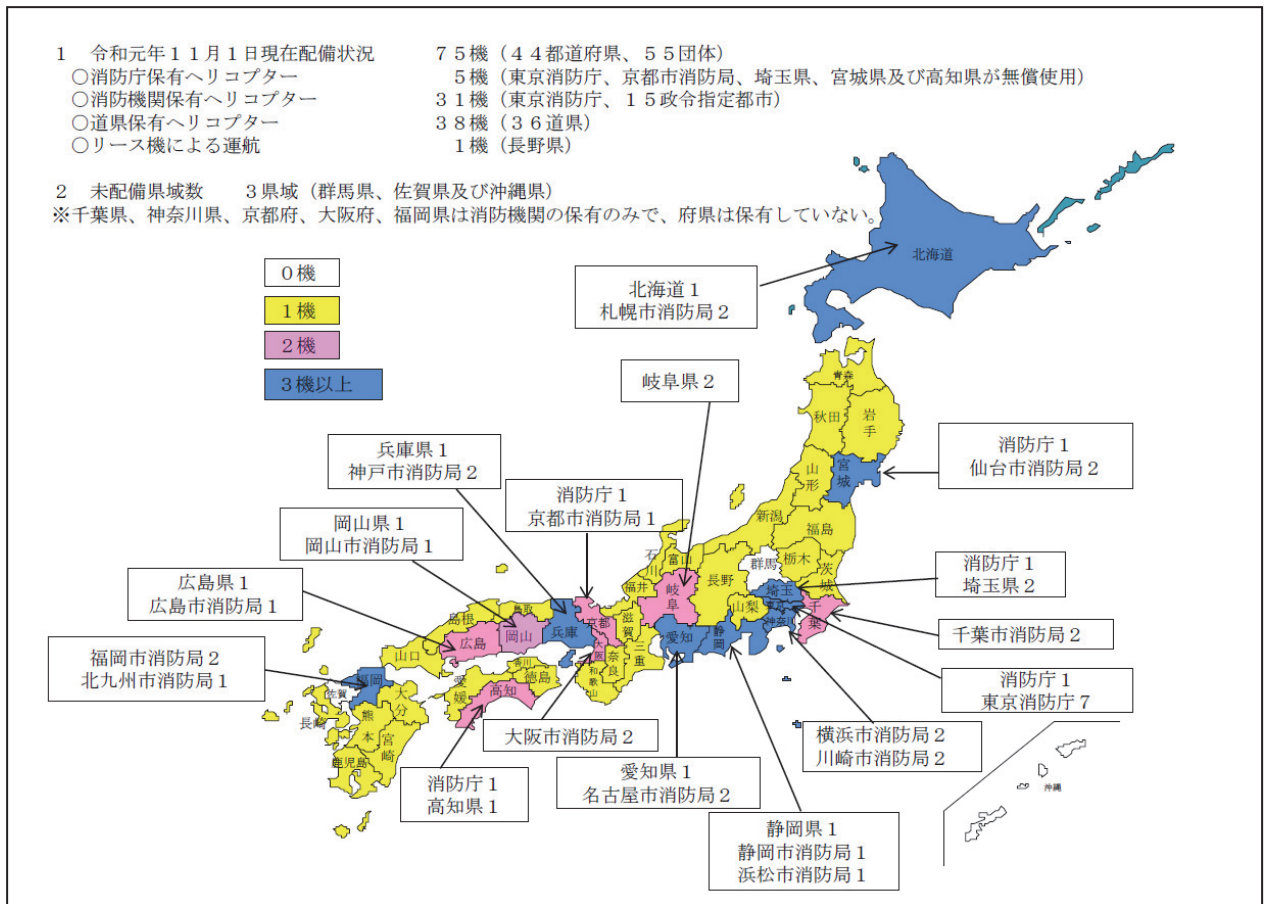


# ヘリコプターによる救急救助業務

## 1 消防防災ヘリコプターの配備状況

令和元年11月1日現在の消防防災ヘリコプターの配備状況は、総務省消防庁保有が5機、消防機関保有が31機、道県保有が38機、リース機による運航が1機の計75機となっており、未配備県は3県となっている。平成30年8月10日に発生した墜落事故のため、群馬県は現在ヘリコプターを保有していない（第1図、第2表参照）。

第1図 消防防災ヘリコプターの配備状況



第2表 消防防災ヘリコプター保有状況の推移

(機)

区分	年					
	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
総務省消防庁	5	5	5	5	5	5
消防機関	31	31	31	31	31	31
都道府県	40	40	40	39	38	38
リース機による運航					1	1
計	76	76	76	75	75	75

(注) 各年11月1日現在の値を示す。

## 2 消防防災ヘリコプターの災害出動状況

平成 30 年中の消防防災ヘリコプターの救急出動件数は 3,128 件（対前年比 242 件減、7.2%減）、救助出動件数は 2,058 件（対前年比 30 件増、1.5%増）となっている。

その他に、火災出動件数は 1,042 件（対前年比 68 件減）、情報収集・輸送等出動件数は 269 件（対前年比 25 件増）となっており、すべての出動件数を合わせた合計は 6,497 件（対前年比 255 件減）となっている（第 3 表、第 4 表、第 5 図参照）。

第 3 表 平成 30 年中消防防災ヘリコプター災害出動状況

区分	災害区分												計			
	火災			救助			救急			情報収集・輸送等						
	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計	
消防ヘリ	1 札幌市消防局	27	1	28	46	10	56	293	9	302	3	6	9	369	26	395
	2 仙台市消防局	10	1	11	33	8	41	26	4	30	8	3	11	77	16	93
	3 千葉市消防局	28	0	28	3	0	3	21	6	27	16	1	17	68	7	75
	4 東京消防庁	44	0	44	50	4	54	466	2	468	0	2	2	560	8	568
	5 横浜市消防局	95	2	97	3	11	14	0	0	0	8	8	8	98	21	119
	6 川崎市消防局	29	1	30	22	10	32	0	1	1	1	3	4	52	15	67
	7 静岡市消防局	3	0	3	13	3	16	9	4	13	0	0	0	25	7	32
	8 浜松市消防局	22	0	22	14	1	15	47	0	47	8	0	8	91	1	92
	9 名古屋市消防局	73	6	79	16	9	25	4	2	6	0	6	6	93	23	116
	10 京都市消防局	17	1	18	24	1	25	56	2	58	15	6	21	112	10	122
	11 大阪市消防局	31	1	32	42	7	49	4	1	5	5	7	12	82	16	98
	12 神戸市消防局	176	0	176	89	1	90	83	3	86	3	0	3	351	4	355
	13 岡山市消防局	23	1	24	2	1	3	8	4	12	1	0	1	34	6	40
	14 広島市消防局	47	6	53	42	24	66	17	49	66	10	10	20	116	89	205
	15 北九州市消防局	15	1	16	6	1	7	14	1	15	1	1	2	36	4	40
	16 福岡市消防局	20	1	21	31	19	50	39	12	51	6	6	12	96	38	134
小計	660	22	682	436	110	546	1,087	100	1,187	77	59	136	2,260	291	2,551	
道県ヘリ	1 北海道	5	0	5	78	0	78	56	0	56	0	0	0	139	0	139
	2 青森県	5	4	9	38	3	41	16	2	18	1	1	2	60	10	70
	3 岩手県	16	0	16	49	1	50	26	0	26	0	2	2	91	3	94
	4 宮城県	6	6	12	17	6	23	14	4	18	0	0	0	37	16	53
	5 秋田県	4	3	7	39	1	40	8	1	9	1	0	1	52	5	57
	6 山形県	0	0	0	36	3	39	20	0	20	1	1	2	57	4	61
	7 福島県	13	0	13	49	3	52	43	3	46	1	1	2	106	7	113
	8 茨城県	8	2	10	37	1	38	23	1	24	2	0	2	70	4	74
	9 栃木県	6	1	7	29	28	57	31	17	48	0	5	5	66	51	117
	10 群馬県	4	3	7	23	6	29	26	4	30	0	0	0	53	13	66
	11 埼玉県	10	11	21	25	23	48	14	15	29	4	12	16	53	61	114
	12 新潟県	3	0	3	64	4	68	42	1	43	0	0	0	109	5	114
	13 富山県	3	0	3	25	1	26	15	0	15	0	0	0	43	1	44
	14 石川県	0	0	0	37	2	39	30	3	33	0	0	0	67	5	72
	15 福井県	2	0	2	22	9	31	23	12	35	1	0	1	48	21	69
	16 山梨県	12	5	17	53	13	66	39	10	49	0	0	0	104	28	132
	17 長野県	2	0	2	3	0	3	4	0	4	5	1	6	14	1	15
	18 岐阜県	17	4	21	55	3	58	28	3	31	0	0	0	100	10	110
	19 静岡県	0	8	8	33	38	71	17	27	44	0	0	0	50	73	123
	20 愛知県	8	2	10	13	3	16	7	2	9	0	0	0	28	7	35
	21 三重県	3	0	3	34	6	40	32	4	36	0	0	0	69	10	79
	22 滋賀県	3	0	3	32	6	38	18	6	24	2	0	2	55	12	67
	23 兵庫県	20	0	20	58	0	58	68	0	68	0	3	3	146	3	149
	24 奈良県	3	1	4	51	10	61	39	12	51	4	3	7	97	26	123
	25 和歌山県	5	0	5	36	4	40	26	3	29	0	0	0	67	7	74
	26 鳥取県	19	3	22	25	9	34	45	3	48	0	1	1	89	16	105
	27 島根県	11	0	11	17	8	25	116	6	122	2	1	3	146	15	161
	28 岡山県	13	6	19	19	1	20	17	18	35	12	0	12	61	25	86
	29 広島県	24	4	28	25	1	26	32	4	36	1	0	1	82	9	91
	30 山口県	12	2	14	15	5	20	11	2	13	0	4	4	38	13	51
	31 徳島県	3	0	3	14	2	16	10	16	26	6	1	7	33	19	52
	32 香川県	2	5	7	9	13	22	83	6	89	1	3	4	95	27	122
	33 愛媛県	3	0	3	24	0	24	20	0	20	10	0	10	57	0	57
	34 高知県	16	1	17	50	1	51	142	2	144	18	0	18	226	4	230
	35 長崎県	3	0	3	8	11	19	28	4	32	0	3	3	39	18	57
	36 熊本県	9	2	11	25	11	36	393	12	405	1	0	1	428	25	453
	37 大分県	4	1	5	34	9	43	32	10	42	6	1	7	76	21	97
	38 宮崎県	6	0	6	38	3	41	86	3	89	6	0	6	136	6	142
	39 鹿児島県	1	2	3	20	5	25	41	4	45	5	0	5	67	11	78
小計	284	76	360	1,259	253	1,512	1,721	220	1,941	90	43	133	3,354	592	3,946	
合計	944	98	1,042	1,695	363	2,058	2,808	320	3,128	167	102	269	5,614	883	6,497	

※管外応援とは、緊急消防援助隊、広域航空消防応援、相互応援協定の出動件数。

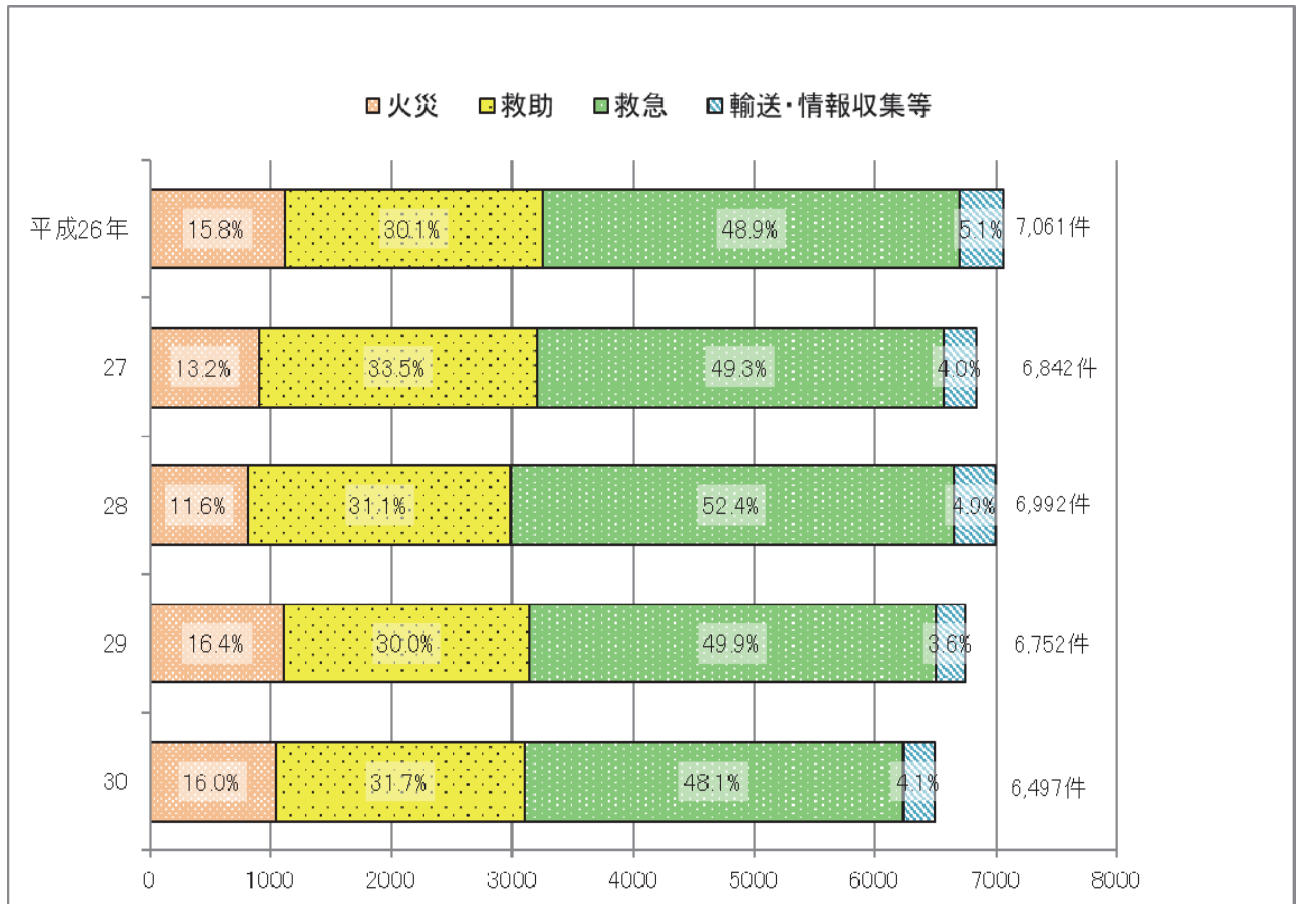
### 第4表 消防防災ヘリコプター災害出動状況の推移

出動件数（件） 救助・救急搬送人員（人）

区分 年・件数		火災			救助			救急			情報収集・輸送等			計		
		管内	管外応援	計	管内	管外応援	計	管内	管外応援	計	管内	管外応援	計	管内	管外応援	合計
平成26年	出動件数	991	128	1,119	1,910	218	2,128	3,201	255	3,456	305	53	358	6,407	654	7,061
	救助・救急搬送人員	1	0	1	1,112	161	1,273	2,494	224	2,718	44	32	76	3,651	417	4,068
平成27年	出動件数	851	55	906	2,010	280	2,290	3,035	340	3,375	249	22	271	6,145	697	6,842
	救助・救急搬送人員	1	0	1	1,213	431	1,644	2,374	508	2,882	111	14	125	3,699	953	4,652
平成28年	出動件数	768	44	812	1,918	255	2,173	3,291	373	3,664	237	106	343	6,214	778	6,992
	救助・救急搬送人員	1	0	1	1,091	246	1,337	2,449	367	2,816	73	165	238	3,614	778	4,392
平成29年	出動件数	1,005	105	1,110	1,771	257	2,028	3,040	330	3,370	190	54	244	6,006	746	6,752
	救助・救急搬送人員	0	0	0	989	248	1,237	2,271	307	2,578	38	50	88	3,298	605	3,903
平成30年	出動件数	944	98	1,042	1,695	363	2,058	2,808	320	3,128	167	102	269	5,614	883	6,497
	救助・救急搬送人員	0	0	0	923	341	1,264	1,999	319	2,318	113	172	285	3,035	832	3,867

※「情報収集・輸送等」欄の救助・救急搬送人員は輸送人員を示す。

### 第5図 消防防災ヘリコプターの出動件数の推移



※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

### 3 消防防災ヘリコプターによる救急活動実施状況

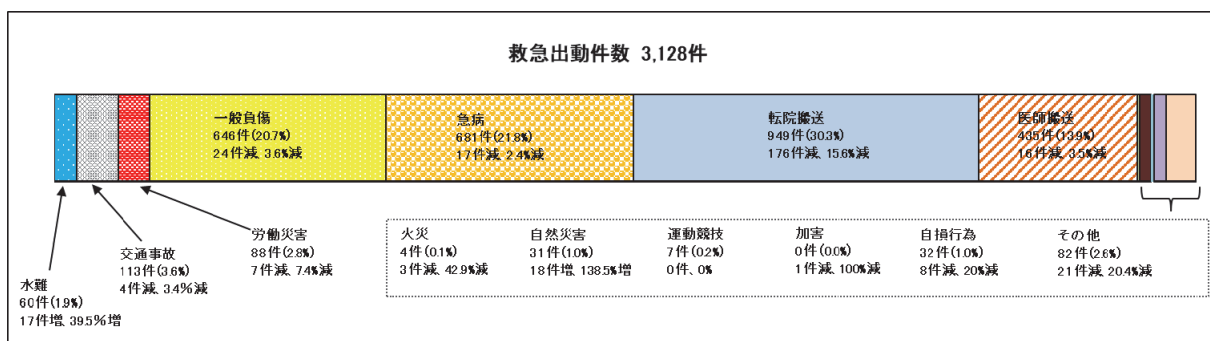
#### (1) 救急出動件数

平成30年中の消防防災ヘリコプターの救急出動件数は、「転院搬送」が949件（対前年比176件減、15.6%減）、「急病」が681件（対前年比17件減、2.4%減）、「一般負傷」が646件（対前年比24件減、3.6%減）、「医師搬送」が435件（対前年比16件減、3.5%減）などとなっている（第6表、第7図、第8表、第9図参照）。

第6表 消防防災ヘリコプター事故種別救急出動件数の推移

年	水難	交通事故	労働災害	一般負傷	急病	転院搬送	医師搬送	火災	自然災害	運動競技	加害	自損行為	その他	合計
平成26年中	49	145	124	701	556	1,202	537	6	36	7	1	42	50	3,456
平成27年中	73	145	122	690	537	1,070	502	3	91	9	1	41	91	3,375
平成28年中	63	134	92	719	673	1,224	599	5	38	12	1	31	73	3,664
平成29年中	43	117	95	670	698	1,125	451	7	13	7	1	40	103	3,370
平成30年中	60	113	88	646	681	949	435	4	31	7	0	32	82	3,128
対前年増減数	17	▲4	▲7	▲24	▲17	▲176	▲16	▲3	18	0	▲1	▲8	▲21	▲242

第7図 平成30年中の消防防災ヘリコプターの救急出動件数

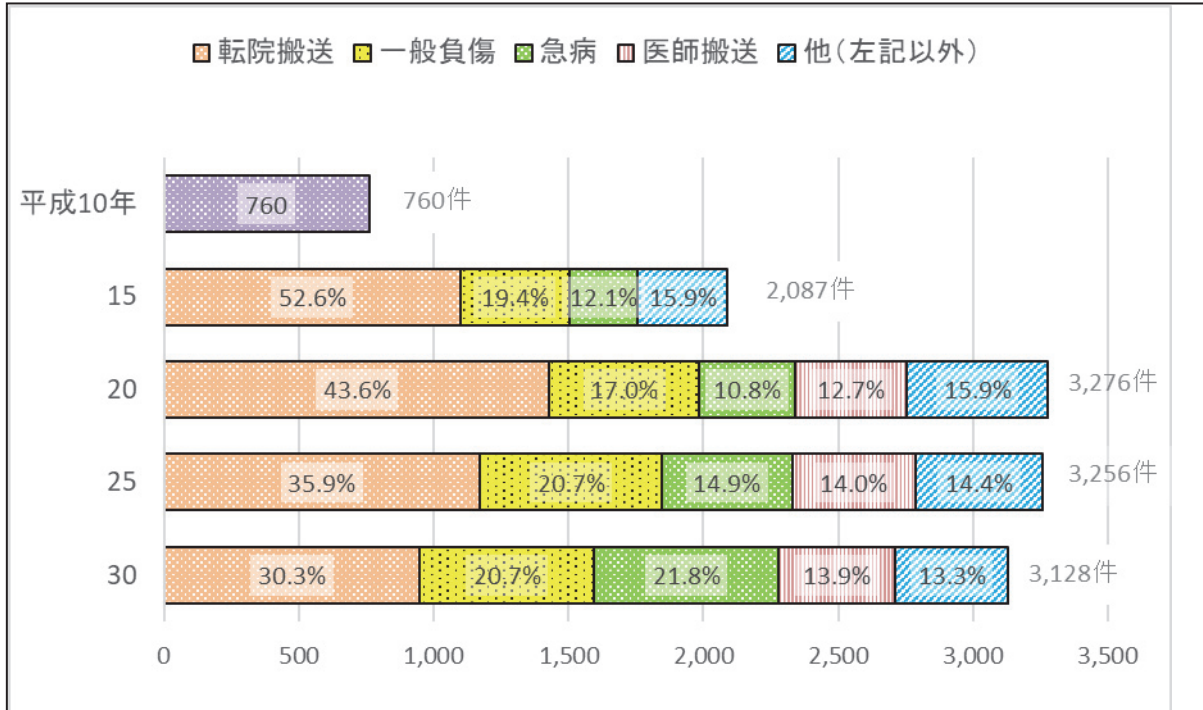


第8表 消防防災ヘリコプター救急出動件数と対前年比（平成30年中）

事故種別	平成30年中		平成29年中		対前年比	
	救急出動	構成比(%)	救急出動	構成比(%)	増減数	増減率(%)
水難	60	1.9	43	1.3	17	39.5
交通事故	113	3.6	117	3.5	▲4	▲3.4
労働災害	88	2.8	95	2.8	▲7	▲7.4
一般負傷	646	20.7	670	19.9	▲24	▲3.6
急病	681	21.8	698	20.7	▲17	▲2.4
転院搬送	949	30.3	1,125	33.4	▲176	▲15.6
医師搬送	435	13.9	451	13.4	▲16	▲3.5
火災	4	0.1	7	0.2	▲3	▲42.9
自然災害	31	1.0	13	0.4	18	138.5
運動競技	7	0.2	7	0.2	0	0.0
加害	0	0.0	1	0.0	▲1	▲100.0
自損行為	32	1.0	40	1.2	▲8	▲20.0
その他の救急	82	2.6	103	3.1	▲21	▲20.4
合計	3,128	100.0%	3,370	100.0%	▲242	▲7.2

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第9図 消防防災ヘリコプター事故種別の救急出動件数と構成比の5年ごとの推移



※平成10年は出動種別不明のため件数のみ

※平成15年は医師搬送の件数不明

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

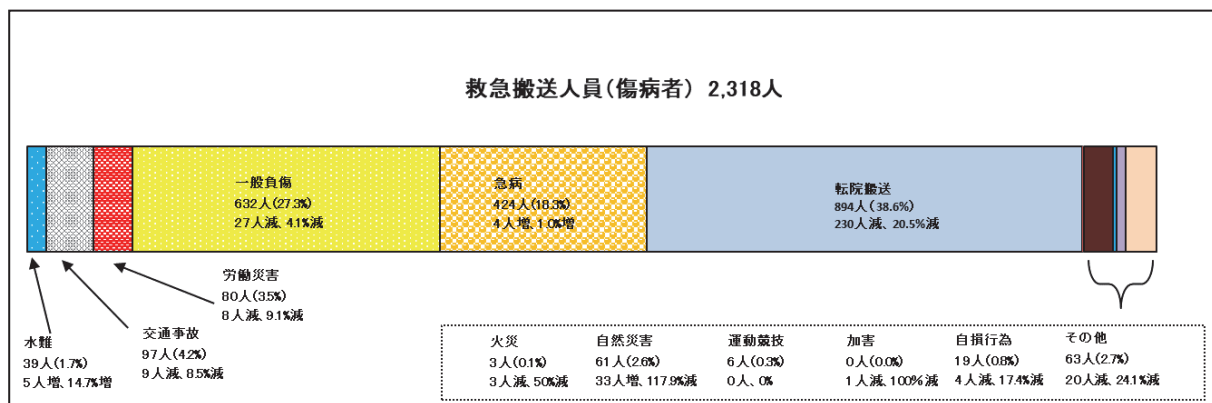
## (2) 救急搬送人員

平成30年中の消防防災ヘリコプターの救急搬送人員は、「転院搬送」が894人(対前年比230人減、20.5%減)、「急病」が424人(対前年比4人増、1.0%増)、「一般負傷」が632人(対前年比27人減、4.1%減)などとなっている(第10表、第11図、第12表、第13図参照)。

### 第10表 消防防災ヘリコプター事故種別救急搬送人員の推移

年	水難	交通事故	労働災害	一般負傷	急病	転院搬送	火災	自然災害	運動競技	加害	自損行為	その他	合計
平成26年中	32	127	115	702	401	1,197	6	60	8	1	30	39	2,718
平成27年中	83	131	121	694	389	1,052	1	315	9	0	25	62	2,882
平成28年中	43	124	86	715	464	1,205	5	99	9	1	21	44	2,816
平成29年中	34	106	88	659	420	1,124	6	28	6	1	23	83	2,578
平成30年中	39	97	80	632	424	894	3	61	6	0	19	63	2,318
対前年増減数	5	▲9	▲8	▲27	4	▲230	▲3	33	0	▲1	▲4	▲20	▲260

### 第11図 平成30年中の消防防災ヘリコプターの救急搬送人員



※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

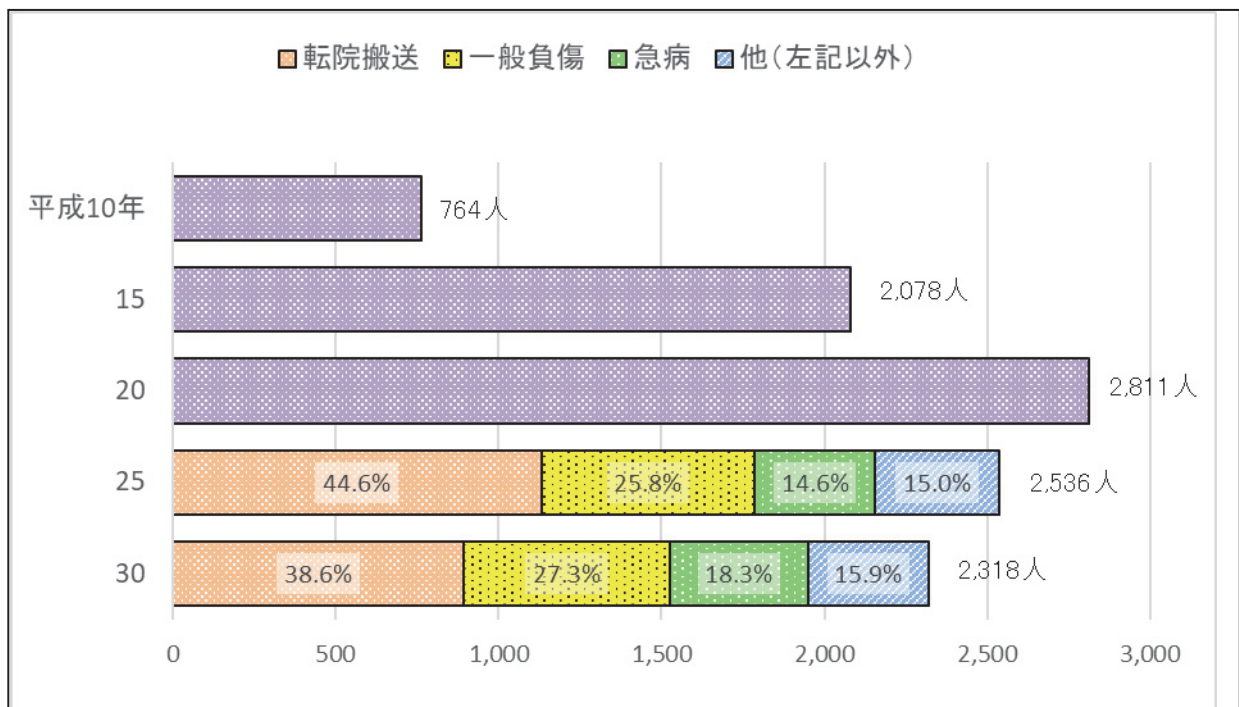
### 第12表 消防防災ヘリコプター救急搬送人員と対前年比(平成30年中)

事故種別	平成30年中		平成29年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
水難	39	1.7	34	1.3	5	14.7
交通事故	97	4.2	106	4.1	▲9	▲8.5
労働災害	80	3.5	88	3.4	▲8	▲9.1
一般負傷	632	27.3	659	25.6	▲27	▲4.1
急病	424	18.3	420	16.3	4	1.0
転院搬送	894	38.6	1,124	43.6	▲230	▲20.5
火災	3	0.1	6	0.2	▲3	▲50.0
自然災害	61	2.6	28	1.1	33	117.9
運動競技	6	0.3	6	0.2	0	0.0
加害	0	0.0	1	0.0	▲1	▲100.0
自損行為	19	0.8	23	0.9	▲4	▲17.4
その他の救急	63	2.7	83	3.2	▲20	▲24.1
合計	2,318	100.0	2,578	100.0	▲260	▲10.1

※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合がある。



第13図 消防防災ヘリコプター事故種別の救急搬送人員と構成比の5年ごとの推移



※平成10年、15年、20年は総件数のみ

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

#### 4 消防防災ヘリコプターの救助活動実施状況

##### (1) 救助出動件数

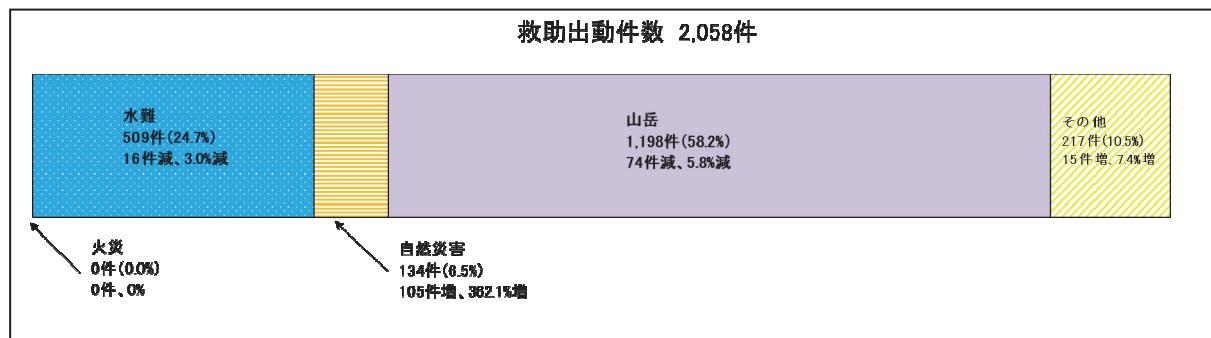
平成30年中の消防防災ヘリコプターの救助出動件数は、「山岳」が1,198件（対前年比74件減、5.8%減）、「水難」が509件（対前年比16件減、3.0%減）、「自然災害」が134件（対前年比105件増、362.1%増）、「火災」が0件（対前年比0件）、「その他」が217件（対前年比15件増、7.4%増）となっている（第14表、第15図参照）。

事故種別ごとの推移をみると、大雨被害等による「自然災害」が他の事故種別に比べ増加傾向にある（第16表、第17図参照）。

第14表 消防防災ヘリコプター事故種別救助出動件数及び救助人員の推移

事故種別 年	件数（件）										人員（人）	
	火災		水難		自然災害		山岳		その他		合計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
平成26年中	3	1	584	82	67	107	1,265	975	209	108	2,128	1,273
平成27年中	0	0	607	121	113	342	1,345	1,085	225	96	2,290	1,644
平成28年中	1	1	558	94	41	108	1,288	1,022	285	112	2,173	1,337
平成29年中	0	0	525	80	29	73	1,272	1,002	202	82	2,028	1,237
平成30年中	0	0	509	67	134	170	1,198	921	217	106	2,058	1,264
対前年増減数	0	0	▲16	▲13	105	97	▲74	▲81	15	24	30	27

第15図 平成30年中の消防防災ヘリコプターの救助出動件数

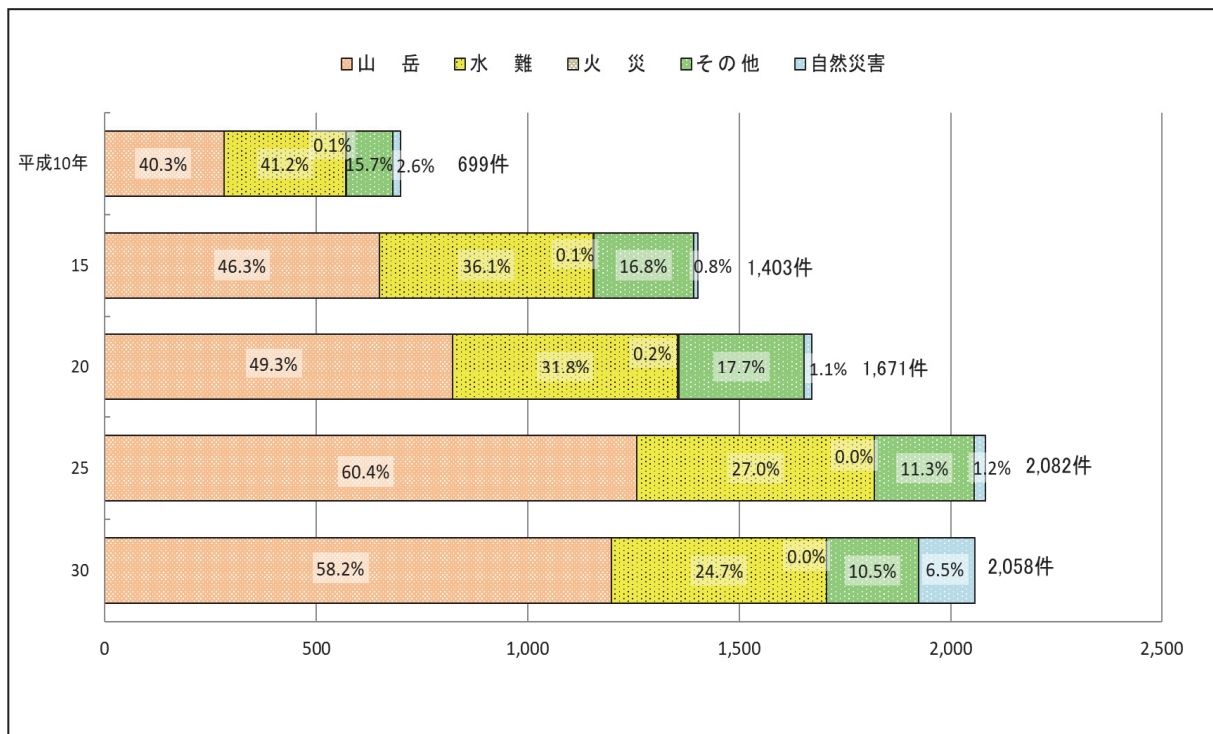


※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第16表 消防防災ヘリコプター事故種別の救助出動件数と対前年比（平成30年中）

事故種別	平成30年中		平成29年中		対前年比	
	救助出動件数	構成比(%)	救助出動件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火災	0	0.0	0	0.0	0	0.0
水難	509	24.7	525	25.9	▲16	▲3.0
自然災害	134	6.5	29	1.4	105	362.1
山岳	1,198	58.2	1,272	62.7	▲74	▲5.8
その他	217	10.5	202	10.0	15	7.4
合計	2,058	100.0	2,028	100.0	30	1.5

第 17 図 消防防災ヘリコプター事故種別の救助出動件数と構成比の 5 年ごとの推移

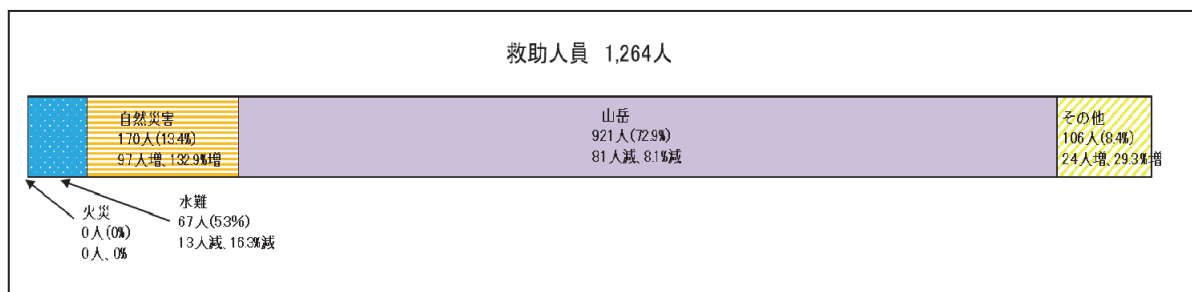


※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は 100%にならない場合がある。

(2) 救助人員

平成 30 年中の消防防災ヘリコプターの救助人員は、「山岳」が 921 人（対前年比 81 人減、8.1%減）、「水難」が 67 人（対前年比 13 人減、16.3%減）、「自然災害」が 170 人（対前年比 97 人増、132.9%増）、「火災」が 0 人（対前年比 0 人、0%）、「その他」が 106 人（対前年比 24 人増、29.3%増）となっている（第 18 図、第 19 表、第 20 図参照）。

第 18 図 平成 30 年中の消防防災ヘリコプターの救助人員



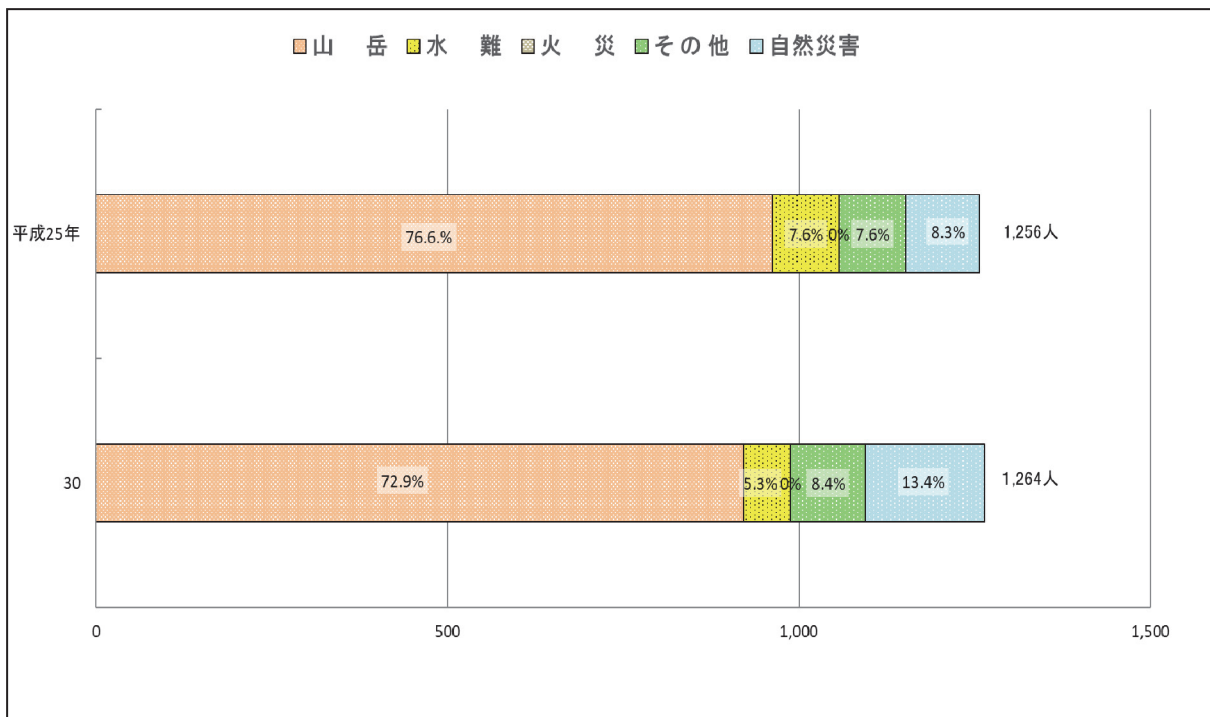
※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は 100%にならない場合がある。

第 19 表 消防防災ヘリコプター救助人員と対前年比（平成 30 年中）

事故種別	平成30年中		平成29年中		対前年比	
	救助人員	構成比(%)	救助人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火災	0	0	0	0.0	0	0.0
水難	67	5.3	80	6.5	▲ 13	▲ 16.3
自然災害	170	13.4	73	5.9	97	132.9
山岳	921	72.9	1,002	81.0	▲ 81	▲ 8.1
その他	106	8.4	82	6.6	24	29.3
合計	1,264	100.0	1,237	100.0	27	2.2

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は 100%にならない場合がある。

第 20 図 消防防災ヘリコプター事故種別の救助人員と構成比の 5 年ごとの推移



※平成 10 年、15 年、20 年の救助人員は不明

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は 100%にならない場合がある。

## 5 緊急消防援助隊航空小隊の出動件数及び救助・救急搬送人員

大規模災害発生時には、消防防災ヘリコプターは、緊急消防援助隊航空隊として出動し、機動力を活かした救助、救急、情報収集、資機材・人員輸送等、多岐にわたる任務を遂行し、大きな成果をあげている。

平成30年中における消防防災ヘリコプターの緊急消防援助隊航空小隊としての出動件数及び救助・救急搬送人員は160件（対前年比116件増）・300人（対前年比209件増）。その内、大分県中津市土砂災害は2件・6人、大阪府北部を震源とする地震は2件・0人、平成30年7月豪雨は129件・187人、平成30年北海道胆振東部地震が27件・107人となっている（第21表参照）。

**第 21 表 緊急消防援助隊航空小隊の出動件数及び救助・救急搬送人員の推移**  
**（平成 26 年～30 年）**

出動件数（件） 救助・救急搬送人員（人）

年・災害名		区分	緊急消防援助隊 航空小隊出動件数	計	緊急消防援助隊航空小隊 による救助・救急搬送人員	計
平成26年	平成26年8月豪雨による広島市土砂災害		14	38	17	28
	御嶽山噴火災害		18		10	
	長野県北部を震源とする地震		6		1	
平成27年	口永良部島噴火災害		5	153	0	544
	平成27年9月関東・東北豪雨		148		544	
平成28年	平成28年熊本地震		77	152	121	324
	平成28年台風第10号による災害		75		203	
平成29年	平成29年7月九州北部豪雨		44	44	91	91
平成30年	大分県中津市土砂災害		2	160	6	300
	大阪府北部を震源とする地震		2		0	
	平成30年7月豪雨		129		187	
	平成30年北海道胆振東部地震		27		107	